



—取扱説明書—

型式:HD-1 (業務用)

お客様用



●このたびは、当社の出汁マシン「HD-1」をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。

●この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになれるまえにこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

●お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。

●保証書は、この取扱説明書の最終ページに記載されております。必ず「お買上げ日・お買上げ店名」等の記入をお確かめください。

保証書付

目次

本機をお使いになる前に

安全上のご注意	1
本機のご使用にあたって	
必ず守ってください	2・3
各部の名称とはたらき	
本体	4
操作スイッチ部	5

第1章 使用前の準備

1 本機の操作には必ず守ってください	6
--------------------	---

第2章 洗浄・清掃のしかた

本機の洗浄・清掃時には	
必ず守ってください	6・7
毎日行う洗浄と清掃	7
ドレンプレート・ドレンパンの洗浄と清掃	8

第3章 お手入れと点検

毎日のお手入れと点検	9
------------	---

第4章 プログラムの設定について

プログラムの概要	
4-1 保温温度の変更手順	10
4-2 取出量の変更手順	11
5-3 浸置洗浄の設定手順	12

第5章 浸け置き洗浄

浸け置き洗浄の手順	13・14
仕様・付属品	16
保証書	17



本機をお使いになる前に

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。




表示と意味は次のようになっています。

[注意喚起シンボルとシグナル表示の例]

 警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示しています。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

[図記号の例]

 感電注意	△は、注意(警告を含む)を示します。 具体的な注意内容は、△の近くや中に絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 接触禁止	○は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、○の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
 プラグを抜く	●は、行動の命令(強制)を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

本機の使用にあたって必ず守ってください

⚠ 警告		
<p>●漏電遮断器または、サーキットブレーカーが「OFF(切)」に作動したときは、お買上げ店に連絡すること</p> <p>無理にレバーを「ON(入)」にすると、感電や火災の原因になります。</p>		 連絡
<p>●異常時はメインスイッチを切り、本機専用電源を「OFF(切)」にしてすぐにお買上げ店に連絡すること</p> <p>異常のまま使用を続けると感電、火災の原因になります。</p>		 専用電源切
<p>●機械内部の電源装置や配線に触れないこと</p> <p>やけどや感電の恐れがあります。</p>		 接触禁止
<p>●ガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、窓を開けて換気すること</p> <p>引火爆発し、危険です。</p>		 ガス栓閉
<p>●修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理はおこなわないこと</p> <p>異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると、感電、火災の原因になります。</p>		 分解禁止
<p>●改造は絶対におこなわないこと</p> <p>改造されると、水漏れや感電、火災の原因になります。</p>		 改造禁止
<p>●移設は専門業者か、お買上げ店に相談すること</p> <p>据え付け不備があると、水漏れ、感電、火災などの原因になります。</p>		 専門業者
<p>●廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること</p> <p>放置しますと、幼児などがケガをする原因になります。</p>		 専門業者
<p>●本機の上に重量物や水を入れた容器を置かないこと</p> <p>落下してケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になることがあります。</p>		 禁止

⚠ 注意

- 可燃性のスプレーを近くで使用したり、近くに可燃物を置かないこと

発火の原因になることがあります。



可燃物禁止

- 製品にもたれたり、乗ったりしないこと

やけどや製品転倒によるケガの原因になります。



禁止

- 点検するときは、必ずメインスイッチを切って、本機専用電源も「OFF(切)」にすること

感電したり、ケガの原因になることがあります。



専門電源切

- 電源プラグを使用している場合、プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。



禁止

- 一週間以上ご使用にならない場合は、安全のためメインスイッチを切って、本機専用電源も「OFF(切)」にし、電源プラグを使用する場合は、コンセントから抜くこと

発熱、発火の原因になることがあります。



専用電源切

- 漏電遮断器は月に1回、動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になることもあります。



動作確認

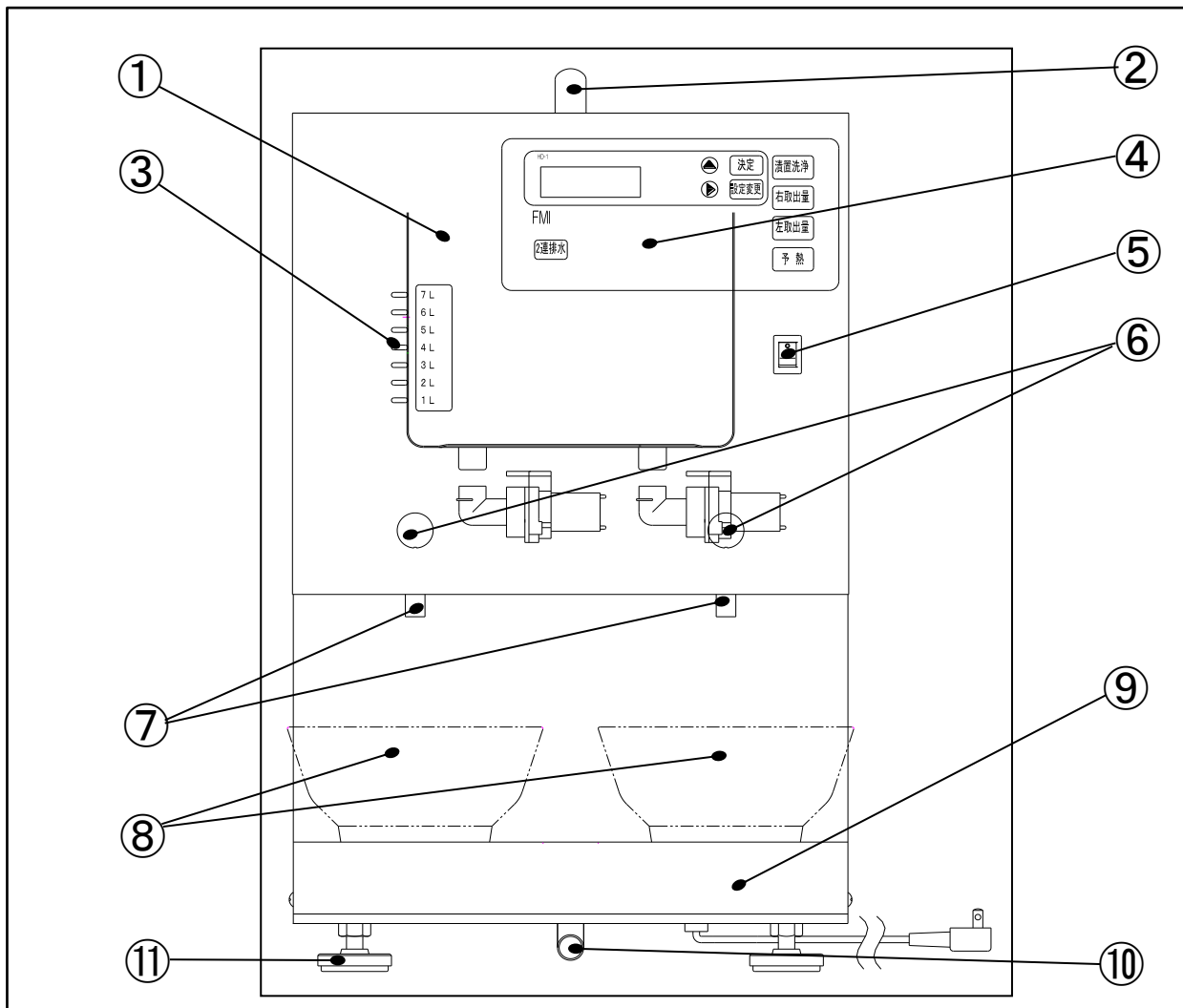
- 本機を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること



テープ止め

各部の名称とはたらき

本 体



①出汁タンク

出汁を保温します。
最大7L保存可能です。

②出汁タンク蓋

③出汁量表示ランプ

残量の表示をします。
1L刻みで7Lまで表示します。
3Lを切るとブザーでお知らせ
します。

④操作スイッチパネル

抽出モードの設定やプログラム
設定をおこないます。
詳しくはP5操作スイッチ部を
参照してください。

⑤電源スイッチ

電源ON/OFFします。

⑥出汁取出スイッチ

⑦出汁取出口

出汁がここから出ます。

⑧お椀

⑨ドレンパン

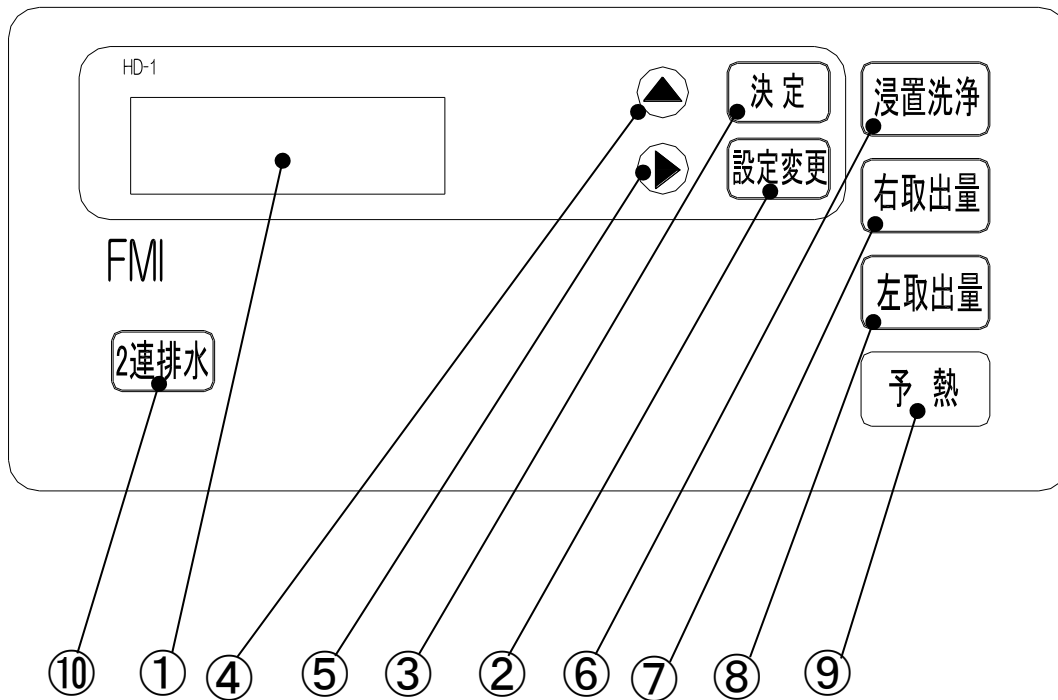
廃液を受けます。

⑩ドレン排水口

⑪架台脚

本体を水平に保つために調整
できます。

操作スイッチ部



①ディスプレイ

現在の機械の状態を表示します。
また各種のメッセージやプログラムの設定
内容を表示します。

②設定変更スイッチ

プログラム設定時に使用します。

③決定スイッチ

プログラム設定の際、設定内容を登録しま
す。

④↑スイッチ

プログラム設定の際、設定値を大きくしま
す。

⑤→スイッチ

プログラム設定の際、カーソルを移動しま
す。

⑥浸置洗浄スイッチ

出汁保温タンク内を浸置洗浄します。

⑦右取出スイッチ

右出汁取出口より設定量出汁を取出します。

⑧左取出スイッチ

左出汁取出口より設定量出汁を取出します。

⑨予熱スイッチ

出汁タンクに出汁を投入する前にタンクを
あらかじめ予熱します。



⑩2連排水スイッチ

左右出汁取出口より同時に排出します。
洗浄時に使用します。

1 使用前の準備




この章では本機を使用する前の準備について説明します。

本機の操作時には必ず守ってください

⚠ 警告	
●濡れた手で電源プラグなど(電源プラグ使用の場合)電気部品に触れたり、各スイッチを操作しないこと 感電の原因になることがあります。	 濡れ手禁止
●出汁を取り出す場合、容器はドレンプレート上に置くこと 持ったまま取り出すと、やけどの原因になります。	 ドレンプレート

2 洗浄・清掃のしかた

本機の洗浄・清掃時には必ず守ってください

⚠ 警告	
●電源プラグを使用している場合、プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと 必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。	専用電源切  禁止
●電源プラグを使用している場合は、刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタがないように刃の根元まで確実に差し込むこと ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。	 点検清掃
●本体に直接水をかけないこと 漏電、ショート、感電、錆、故障の原因になります。	 水掛け禁止

- 濡れた手で電源プラグなど(電源プラグ使用の場合)電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になることもあります。



濡れ手禁止

⚠ 注意

- 一日の営業終了後は必ず自動洗浄すること

洗浄しないと、出汁タンク内が汚れ。出汁の取り出し量が不安定になり故障の原因にもなります。又、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。



洗浄

- 付属の酸素系漂白剤「バブルクリーン」は、口に入れたり、飲んだりしないこと

健康障害の原因になります。



禁止

- 浸置洗浄は必ずすすぎを十分に行ってください。
すすぎを怠ると出汁タンク内に洗浄液が残ったままになることがあります。
その場合、次に出汁を投入すると洗浄液が混ざり、誤って飲んでしまうと健康障害の原因になります。



洗浄

毎日おこなう洗浄と清掃

出汁タンクの洗浄

- 1 出汁タンク内に45℃以下のぬるま湯(約7L)を入れてください
- 2 酸素系漂白剤「バブルクリーン」を投入してください。
- 3 10分間浸け置きしてから排出してください。
- 4 洗剤分を除去するためすすぎを2回以上行ってください

ドレンプレート、ドレンパンの洗浄と清掃

1 ドレンプレートを本体から取り外して洗浄します。

- ①ドレンプレートを、お手持ちの食器用中性洗剤を入れた水またはお湯でいねいに洗ってください。
- ②その後、すすぎ洗いをして洗剤成分を完全に洗い流してください。
- ③乾いた布で水分を拭き取ってください。



2 ドレンパンを清掃します。

- ①ドレンパンを、お手持ちの食器用中性洗剤を入れた水またはお湯を含ませた布などで拭いてください。
- ②その後、きれいな水でしぼった布で拭いてください。
- ③乾いた布で水分を拭き取ってください。



3 お手入れと点検

この章では本機をお使いいただく上で、必要なお手入れと点検を一覧にして示しています。

毎日のお手入れと点検

1.出汁タンクの洗浄	●出汁タンクは毎日汚れが目立ったときに洗浄してください。 第3章「洗浄・清掃のしかた」を参照して、洗浄をおこなってください。
2.出汁タンク蓋の洗浄	●出汁タンク蓋は毎日汚れが目立ったときに洗浄してください。
3.出汁出口ノズルの洗浄	●出汁出口ノズルは毎日汚れが目立ったときに洗浄してください。
4.本体外装の清掃	<p>本体の外装は、中性洗剤を使用し、柔らかい布でいねいに拭いた後、洗剤成分が残らないよう、きれいな水でしぼった布で拭き取ってください。</p> <div> <p>本体に直接水を掛けて洗わないでください。 漏電、ショート、感電、錆、故障の原因になります。</p> </div>

1年に1～2回の点検

2.アース線の点検	●アース線は、切れたり接続部がゆるんだりしていないか点検してください。 異常ある場合は、電気工事店に修理を依頼してください。
3.電源プラグの点検 (電源プラグを使用の場合)	<p>●電源プラグやコードに異常な発熱や破損、重い物が乗ったり、挟み込まれたりしていないか点検してください。 異常がある場合は、電気工事店に修理依頼してください。</p> <p>●電源プラグの刃と刃の取付面、およびコンセントにほこりがついていないか点検してください。ほこりが付いている場合は、清掃してください。</p>

4

プログラムの設定について

4-1 保温温度の変更手

- ^順プログラムの設定はプログラムモードに入っておこないます。

通常の状態

機械本体の『メインスイッチ』 ONの状態

オンド

95℃

操作スイッチ部の『設定変更スイッチ』を押します

ディスプレイに右のような
表示が現れます

ホットディスペンサー

HD-1 Ver1.00

『設定変更スイッチ』を押します

これでプログラムモード
に入りました

ホオン オンド

95℃

決定スイッチを押します

- 保温温度の設定を終了するには
決定スイッチを押します

ホットディスペンサー

HD-1 Ver1.00

通常の状態に戻ります

オンド

95℃

4-2 取出量の変更手順

右取出量の設定

オンド
95°C


右取出量スイッチを押します




トリダシジカン
R:005.0s



オンド
95°C

桁送りスイッチ  と

アップスイッチ 
にて設定します。

- プログラムの設定を終了するには
決定スイッチを押します

左取出量の設定

オンド
95°C


左取出量スイッチを押します




トリダシジカン
L:005.0s



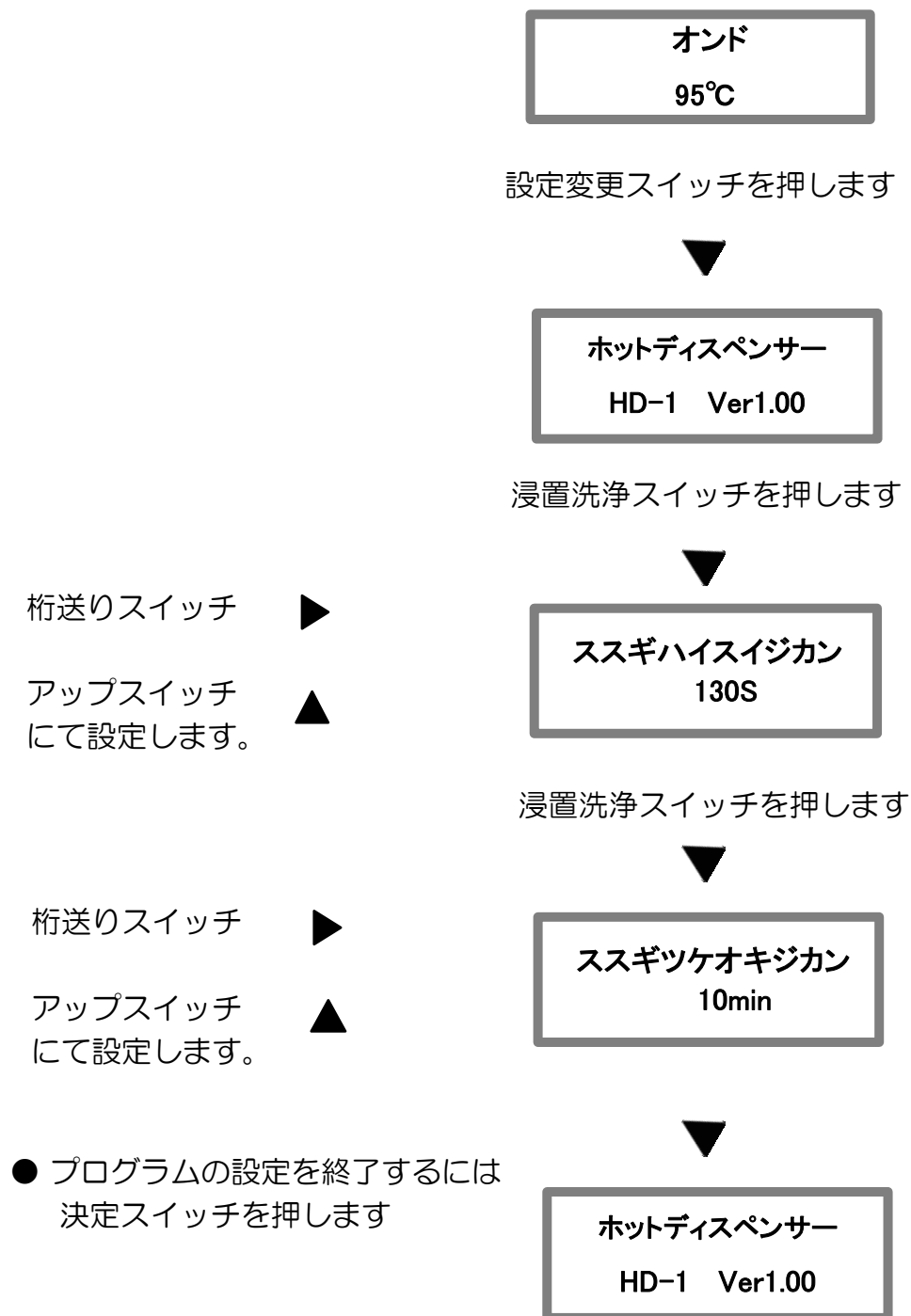
オンド
95°C

桁送りスイッチ 

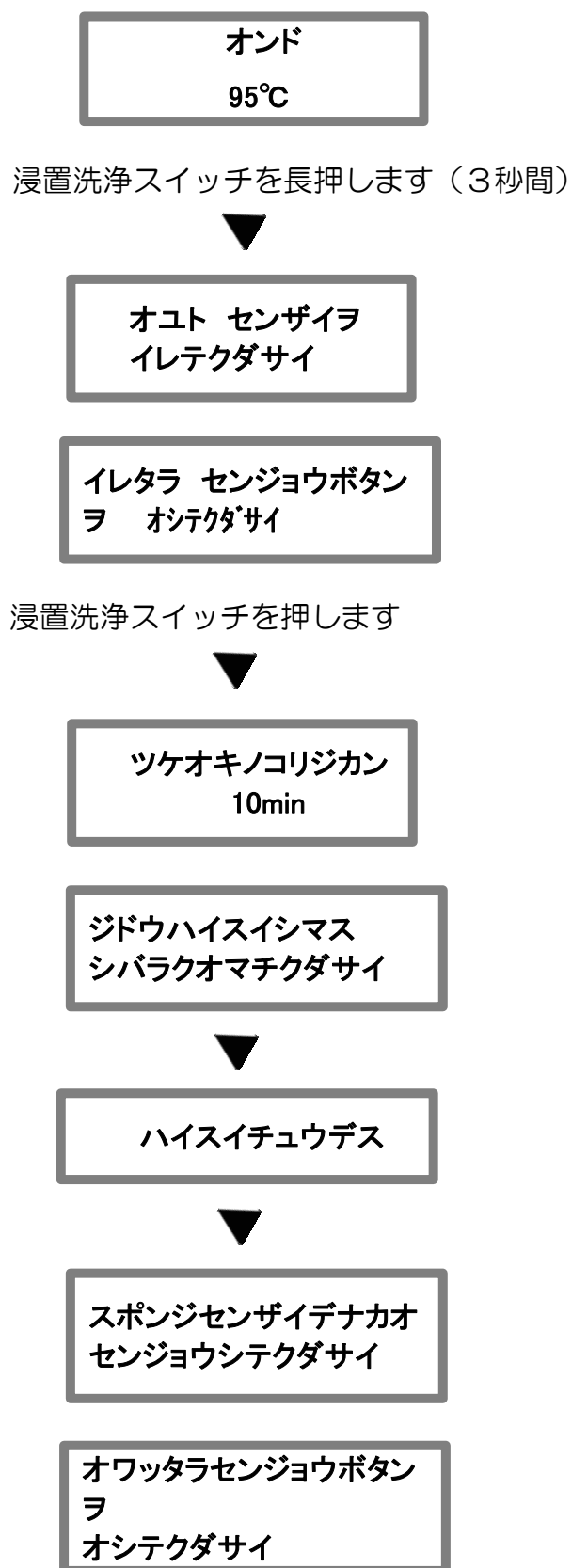
アップスイッチ 
にて設定します。

- プログラムの設定を終了するに
は
決定スイッチを押します

4-3 浸置洗浄の設定手順



5 浸置洗浄の手順



浸置洗浄スイッチを押します



オユオマンパイマデ
イレテクダサイ



イレタラセンジョウボタンヲ
オシテクダサイ



ハイスイチュウデス



フキントアルコールデ
ナイブヲフイテクダサイ



コレデセンジョウハカンリョ
ウデス

仕 様 【HD-1】

品名	ホットディスペンサー
型式	HD-1
機能	出汁の保温
外形寸法	幅340・奥行515・高さ565・mm (突起物を含む奥行 mm)
質量	19kg
電源	100V 50/60Hz
電流	4.2A
消費電力	0.42Kw
出汁タンク容量	7L
出汁保温温度	標準設定 95℃(80~96℃可変)
用途	具無し(スープ、飲料)
出汁取出方式	ポンプ式定量取出
取出口	2カ所
機能	保温温度表示
	LED残量表示(1L間隔)
電源コード	長さ:2. 2m プラグ付

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

付属品

[はじめに、下記の付属品がそろっているかチェックしてください。]

No	品 名	個数
1	洗浄用排水パイプ	2個
2	酸素系漂白剤「バブルクリーン」(240g)	1本
3	計量カップ(洗浄剤用)	1個
4	取扱説明書(本書、保証書付)	1部

エフ・エム・アイ商品保証書

＜＜本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。保証期間経過後の修理等につきましては、お買い上げ店にご相談ください。＞＞

● 保証期間

保証の効力は、商品お買上げと同時に発生いたします。
その期間は、1年間有効とし、機器本体を対象とします。

● 保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、お買い上げ店が『無料修理』いたします。
- 無料修理を受ける場合は、お買い上げ店にご依頼のうえ、出張修理に際しまして本書をご提示ください。
- 保証期間内でも次の場合には『有料修理』となります。
 - ご使用上の誤り、および製品の改造や不当な修理により発生した故障および損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧その他の外部要因による故障および損傷。
 - 車輛、船舶に搭載して使用された場合の故障および損傷。
 - お買い上げ後の転倒、落下や取付場所の移動などによる故障および損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書にお客様名、お買上げ年月日、お買上げ店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - 指定外の使用電源（電圧、周波数）の使用による故障および損傷。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - 消耗部品は、保証の対象範囲から除外させていただきます。

この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げ店にお問い合わせください。

● 修理対応期間（補修用性能部品の保有期間）

当社では、本製品修理対応期間（補修用性能部品の保有期間）を販売打ち切り後8年とさせていただいております。修理対応期間（補修用性能部品の保有期間）を終了している場合は、修理のご依頼をお受けできないことがあります。

品 名	ホットディスペンサー		
型 式	HD-1	製造番号	
お 客 様	ご芳名	様	
	ご住所	〒 TEL ()	
お買上げ店	店名・住所		
お買上げ日	年 月 日	無料修理保証期間	お買上げ日より1年間

株式会社エフ・エム・アイ

東京：〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521

大阪：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393

営業所 札幌：〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651

仙台：〒983-0034 仙台市宮城野区扇町2丁目1番9号 Tel.022(238)5711

名古屋：〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891

広島：〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855

福岡：〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

出張所 北陸：〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810

沖縄：〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番21号 Tel.098(870)2766

サービス盛岡：〒020-0124 盛岡市厨川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390

ステーション 四国：〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161

鹿児島：〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281

東京修理工場：〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ <http://www.fmi.co.jp/>